

お知らせ



国土交通省
中国地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

平成24年4月26日

資	料	提	供	先
島	根	県	政	記
出	雲	市	政	記
合	同	庁	舎	記
広	島	県	政	記
中	国	地	方	建
中	国	地	方	建

「尾原ダム竣工式」の挙行について

(主旨)

国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所が斐伊川水系斐伊川に建設を進めていた尾原ダムの竣工式を下記のとおり挙行いたしますのでお知らせします。

記

【尾原ダム竣工式】

日時：平成24年6月3日（日） ①竣工式典：午前10時00分から

②現地行事：久寿玉開披 午前11時40分頃から
記念植樹 午前11時50分頃から

場所：①竣工式典：奥出雲町立町民体育館（島根県仁多郡奥出雲町三成445-3）

②現地行事：尾原ダムダムサイトの右岸（島根県雲南市木次町平田211-5）
（※現地行事場所については、当日の天候により変更となることがあります。）

主催：国土交通省 中国地方整備局

（※式典等の詳細につきましては、後日、お知らせします。）

□問い合わせ先

国土交通省中国地方整備局 082-221-9231(代表)

河川部水政課長 菊池 光良 (内線3551)

河川部水政課長補佐 菱井 卓二 (内線3552)

(担当事務所)

国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所 0853-21-1850(代表)

(事)副所長 米田 清隆 (内線202)

(技)副所長 玉田 一雄 (内線206)

総務課長 吉中 睦夫 (内線211)

□広報担当窓口

国土交通省中国地方整備局 082-221-9231(代表)

広報広聴対策官 石田 勝なり (内線2117)

環境調整官 江角 忠也 (内線3114)



忘れてはならない教訓 次代に引き継ごう
～2012年は昭和47年7月水害から40年

尾原ダム建設事業について

○事業の目的及び経緯の概要

尾原ダム建設事業は、昭和47年7月の大出水を契機に策定された斐伊川・神戸川流域を洪水から守るいわゆる3点セット（上流域のダム建設事業、中流域の斐伊川放水路事業、下流域の大橋川改修と宍道湖及び中海湖岸堤の整備）の1つで、中流域の斐伊川放水路とあいまって斐伊川下流部の洪水の低減や河川環境の保全、水不足が慢性化している島根県東部地域3市（松江市、出雲市、雲南市）への水道水の供給を目的としたダム建設事業です。

本事業は、昭和62年から実施計画調査に入り、平成3年から建設に着手しました。平成7年11月に用地補償基準の妥結調印を行い、平成18年6月ダム本体工事に着手、平成22年6月に本体コンクリート打設を完了しました。平成22年11月から平成24年3月まで実施した試験湛水により、ダム本体及び貯水池斜面の安定性が確認されたため、平成24年3月31日をもって建設事業を完了しました。

また、地域に開かれたダムをめざし、尾原ダム建設と並行してダム湖周辺に自転車競技施設やボート競技施設、道の駅、温泉施設などダム周辺地域の交流拠点が整備され、地域の活性化に向けて活用されることが大いに期待されます。

○尾原ダムの諸元

尾原ダムは、洪水調節、河川環境の保全、水道水の供給を目的とする斐伊川水系斐伊川に建設した多目的ダム

ダム緒元：位置	島根県雲南市木次町平地先
堤高	90m（島根県内最高）
堤頂長	約441m
堤体積	約68万9千m ³
型式	重力式コンクリートダム

貯水池緒元：集水面積	289.0km ²
湛水面積	2.3km ²
総貯水容量	60,800千m ³

用地関係：移転戸数 111戸



満水時の状況（3月3日）



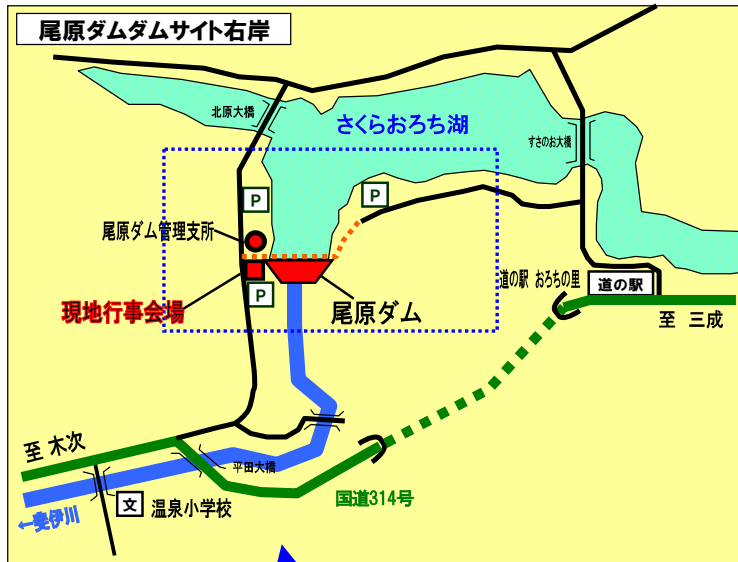
非常用洪水吐きからの試験放流状況（3月4日）

※現地行事場所については、当日の天候により変更となる事があります。

○当日の問い合わせ先

出雲河川事務所 尾原ダム管理支所 0854-48-0780（代）

副所長 玉田 一雄 計画課長 服部 洋佑



尾原ダム竣工式 会場広域案内図

